

愛臨技学部研究班活動報告書

所属：輸血検査研究班 提出日：令和 4 年 9 月 13 日 報告者：松浦 秀哲

行事種別	基礎講座	行事番号	220004233	
開催日	令和 4 年 9 月 11 日 (日)			
時間	開始	10 時 00 分	終了	16 時 00 分
場所	ライブ配信			
テーマ	みんなで一緒に考えよう～こんな検体に遭遇したら、あなたはどうしますか？～			
生涯教育履修点数	専門教科 20 点			
司会	日本赤十字社 東海北陸ブロック血液センター 加藤 静帆			
講師	<p>【応用コース】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事前課題の解説 ・輸血検査の応用的手法の解説 <p>輸血検査研究班 班員 (加藤静帆、林恵美、二村亜子、市川潤)</p>			
内容	<p>基礎講座応用コースでは、今年度初の取り組みとして事前課題の検体を調製し参加者の施設に配布した。今回の検体は、低温反応性の不規則抗体および 37℃反応性の不規則抗体を保有する複数抗体症例、新生児の輸血検査、寒冷凝集素保有症例の 3 症例をテーマとして取り上げた。受講生には事前に自施設で当該検体の検査を実施して頂き、予期せぬ反応やその対応方法についてアンケートに回答してもらった。</p> <p>担当者が参加者の回答を集計、解析することで知識の定着が不十分な箇所や重点的に説明する箇所を明らかにした。また、基礎講座の最中には 3 回のべ 60 分以上のグループディスカッションの時間を設け、意見効果や疑問点の解決につながるよう配慮した。</p> <p>グループディスカッションでは事前課題の問題はもちろん、日常検査で困っていることなどが話し合わせ有意義な時間を過ごしているように感じられた。</p> <p>全体での質疑応答の時間には多くの疑問点があげられ、班員からも意見を聞くことができ活発な意見交換が行われた。</p> <p>コロナ禍においても基礎講座をバージョンアップさせ、実施できたことは輸血班として意義深い。</p>			
参加者	総数：27 名 (会員 27 名、県外会員 0 名、非会員 0 名、賛助会員 0 名、学生 0 名、その他 0 名) ・申込総数：29 名			
共催、後援など	なし			

【総数】 現地開催、ライブ配信：参加者を記載 (非会員や学生など内訳を記載)

オンデマンド配信：レポート提出者と講師、実務委員を記載

2022.9.13